

GoodJob! セミナー

障害のある人と協働し、アート、デザイン、ビジネスの分野を超えて、新たなしごと・はたらき方、さらには継続させる仕組みが生まれています。はたらくことへの価値観が多様化していくなかで、既存の労働観にとらわれないユニークな取り組みをおこなう人たちが全国から集まり、これからの“Good Job!”について、熱く語り合い、議論します。

みなさまのご参加をお待ちしています!

2017年2月24日[金]

学生 × デザイン × 福祉の可能性

大学や専門学校など、学生による地域活動が増え、小さくともこれからの未来について必要な考え方や取り組みが生まれつつあります。社会的な課題に向き合う学生の取り組み、デザインが社会に対して果たしていく役割について考えます。

2017年2月25日[土]

これからのしごと・はたらき方を考える2時間

障害のある人との協働が、どのようにしごと・社会を変革していくのか。「イノベーション」の研究・実践を進めてきた田村大さん、そしてGood Job! Award 入選者とともに考えます。

会場 渋谷ヒカリエ11階 Hikarie カンファレンス Room D

両日とも18:30~20:30 *18:15受付

対象 障害のある人やそのご家族、多様な雇用に関心のある企業福祉事業所職員、NPOスタッフ、福祉事業所との協働を考えているアーティスト・デザイナー・エンジニア・学生

定員 60名

参加費 各回 一般 2,000円/学生 1,000円

関連
企画

GoodJob! 展 2016-2017 <http://goodjobproject.com/>

アート、デザイン、ビジネス、福祉の分野をこえて、新たな出会いと仕事生まれるGood Job! 展。さまざまな協働から生まれたプロダクトやそれを支える仕組みを紹介します。

Good Job! プロジェクトは、2016年グッドデザイン金賞を受賞しました。

会期: 2月24日(金)~26日(日) 11:00~20:00

会場: 渋谷ヒカリエ 8F 8/COURT (東京都渋谷区渋谷 2-21-1)



2015-2016 Good Job! 展 @ 渋谷ヒカリエ

主催: 一般財団法人たんぽぽの家 / 特別協賛: トヨタ自動車株式会社、株式会社丹青社 / 協賛: 明治安田生命保険相互会社、コクヨ株式会社、株式会社プリプレス・センター、株式会社西山ケミックス、株式会社ソフィア / 共催: 公益財団法人パブリックリソース財団
協力: 渋谷ヒカリエ、一般社団法人北海道チャレンジドアート&プロダクツ、NPO 法人エイブル・アート・ジャパン、NPO 法人まる

TOYOTA

株式会社丹青社

明治安田生命

KOKUYO

株式会社プリプレス・センター

かばきち

Sophia

24日[金] 学生×デザイン×福祉の可能性

18:15~18:30(15分) **受付**
18:30~18:35(5分) **あいさつ**
18:35~19:15(40分) **基調講演**

なぜデザインが必要なのか

福祉の現場を見直すこと、研究するフィールドを観察すること、これらは「デザイン」という行為と密接につながっています。あの人はいま、何に困っているのだろうか。何を解決すれば、よりよく生きることができるのだろうか。はたらきがい・尊厳のある仕事のために、何をつくれればいいのか。頭をかかえて動けなくなりそうな問いに対するヒントを、「自己言及」と「ケア」というキーワードを巡る新しいデザインの考え方から学びます。

藤崎 圭一郎
(東京藝術大学美術学部デザイン科 教授)

デザイン専門誌「デザインの現場」(美術出版)の編集長をつとめていたデザイン評論家。1993年より独立し、雑誌・新聞にデザインや建築に関する記事を執筆している。主な著書に「デザインするなードラフト代表・宮田謙」。デザインに向き合う姿勢や考え方や、デザインと言葉の関係性を追究している。

19:15~19:20(5分) **休憩**
19:20~19:40(20分) **事例報告① 福祉と学生の関わり方**

ライラ・カセム
(グラフィックデザイナー、東京大学先端科学技術研究センター特任助教)

東京藝術大学大学院デザイン科の博士課程修了。学生時代から継続して障害のある人の社会参加と経済自立につながるアート作品の制作と商品開発に取り組んでいます。福祉や社会課題への関わりかた、デザインの役割について学びます。

19:40~20:00(20分) **事例報告② Fabの可能性を見い出す ~「よしすけツールキット」の開発~**

木許 宏美(慶應義塾大学環境情報学部)
障害福祉事業所「よし介工芸館」と協働し、一人ひとりの描く絵画をアイコンパーツ化したツールキットを開発。「ファブ」を活用する新たなしごとのあり方を施設職員のみなさんとともに考えます。

20:00~20:30(20分) **フロア・ディスカッション**

藤崎 圭一郎
(東京藝術大学美術学部デザイン科 教授)
水野 大二郎
(慶應技術大学環境情報学部 准教授)
コーディネーター
原田 祐馬(UMA / design farm 代表)

20:30 **閉会**

25日[土] これからのしごと・はたらき方を考える2時間

18:15~18:30(15分) **受付**
18:30~18:35(5分) **あいさつ**
18:35~19:15(40分) **基調講演**

未来をつくるイノベーターという人々

障害のある人のはたらき方は、その中身も処遇も含めて社会福祉のひとつの難題となってきましたが、「障害のある人こそが、新たなはたらき方を示す存在である」という大胆な仮説から始まった「Good Job!」という試み。その黎明期から、人間の行動や価値という側面の抜本的な変革、つまり「イノベーション」を生み出すはたらき方を共に考えてきた田村さんに、はたらき方の未来を語っていただきます。

田村 大
(株式会社リ・パブリック共同代表、東京大学i.school共同創設者)

生活者を起点としたイノベーションのあり方を示す、新たな事業創造の研究・実践のフロントランナーとして、90年代後半から活躍。博報堂イノベーションラボ、東京大学i.schoolなどで産業・学術・社会が交わる場・機会の創出に携わり、その後独立。現在は福岡を拠点に、福岡を世界的なイノベーション都市に育て上げる数々の取り組みをディレクションしている。

19:15~19:25(10分) **休憩**
19:25~20:15(50分) **セッション**

GOOD JOB! NOW ~障害のある人との協働実践者~

はたらきがい・生きがいのあるしごとやはたらき方を、悩み考えぬきながら、障害のある人たちと共同につくりあげている取り組みが全国各地で生まれています。一人ひとりと向きあい、分野の領域を超えて、これからはたらき方を生みだしている実践者が描いている未来について熱く語り合います。

Good Job! Award 入選者

秋田 順子(ぼんめのご)
磯村 歩(futacolab[フタコラボ])
井上 愛(NPO法人ひょうたんカフェ)
島影 主佑(株式会社 OTON GLAS)
柳 匡裕(一般社団法人ありがとうの種)
吉永 朋希(たんぼぼの家アートセンター HANA)
ほか

20:15~20:30(15分) **質疑応答**
20:30 **閉会**

お申し込み方法 | 以下の事項を記載のうえ、2月22日(水)までに、一般財団法人たんぼぼの家にE-mailまたはFaxでお申し込みください。
*参加費は当日、申し受けます。定員になり次第、しめらせていただきます。

お申し込み先 | 一般財団法人たんぼぼの家 FAX:0742-49-5501 E-mail:goodjob@popo.or.jp

氏名[ふりがな] _____ 連絡先電話番号 _____

住所 [〒 _____] _____

所属団体(施設、学校) _____ 参加希望日 2月24日(金) 2月25日(土)

セミナーをお知りになった場所、きっかけ _____